発達障害・専門講座９講座№16209

**明治安田こころの健康財団　子ども療育相談センター第１回実践報告会**

**自閉症スペクトラム児に対する個別療育実践**

―幼児期から学齢期の子どもの一人ひとりのニーズに応じて－

**期　　日：２０１７年 3月 ４日（土）**

受講対象：自閉症スペクトラム児への療育支援に携わっている方や興味のある方

**定　　員：60名**（定員になり次第締切りますのでホームページ等でご確認ください）

**受 講 料：３,０００円**（税込み）　※昼食は各自でおとり願います

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団**

**会　　場：明治安田こころの健康財団　講義室**※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田３－１９－１０　　TEL：０３-３９８６-７０２１

ＪＲ山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩約７分

**ここ数年、発達に心配のある子どもたちとそのご家族への支援が身近な地域で充実してきています。移動や経済的負担を減らし、子どもたちが専門的な療育支援を受ける機会は増えてきました。しかし、個々の子どもの状態に応じて必要な個別の療育の内容を検討し、将来を見据えた縦断的な療育支援を行なうことは、これからの課題でもあります。問題となる行動への対応と集団への参加に向けた調整がなされる中で、日々の活動の積み重ねによる様々なスキルの獲得が示されてきている一方、直接経験の繰り返しで獲得したパターン行動は、周囲の人からの明確な期待に応えたスキルの獲得とは違うものであり、将来における周囲の人とのプラン共有の困難性の改善には至らない可能性があります。認知の偏りや遅れによりさまざまなスキルの獲得に困難が示されていた時代と比べ、早期から高い認知スキルを獲得している子どもが多く見られるようになりました。しかし、他者との相互交渉を続けながら、今気をつけてやることや、次にやることを意識して行動することは、年齢や能力に関わらず十分に保障していく必要があると考えます。年齢相応、能力相応と言われる基準を意識し、行動を調整する練習をできるだけ幼児期に行っていきたいという希望を基に、子ども一人ひとりの特徴を加味して、対応の工夫とアイデアを検討しています。**

**今回の報告会では、当センターの理念に基づいた療育実践について報告させていただき、参加者の皆様と討論をしていく予定です。自閉症スペクトラム児への個別療育支援に携わっている方、これから個別療育を担当される方、個別療育について興味のある方々の参加を希望します。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程 | 時 　間 | テ　　ー　　マ | |
| ３  月  ４  日  (土) | 10：00～11：00 | 自閉症スペクトラムの特徴のある子どもの将来の生活・余暇・仕事 | |
| 11：10～11：50 | 実践報告１ | |
| 昼　　食　　（各自でお取りください） | | |
| 13：00～14：00 | | 実践報告１質疑応答 ～ 実践報告２ |
| 14：10～15：10 | | 実践報告２質疑応答 ～ 実践報告３ |
| 15：20～16：00 | | 実践報告３質疑応答 ～ まとめ |

【*プログラム*】

　　　　　　　　　　　　≪ 明治安田こころの健康財団　子ども療育相談センター ≫

新井　利明 ・ 山藤　由紀 ・ 田代　　結 ・ 中嶋　由希子

天野　昌子 ・ 有馬　由紀子 ・ 湯浅　麻衣 ・ 大岡　駿介